

「JENESYS2024」中国著作権業界関係者代表団の記録

1. プログラム概要

【目的】

本事業は、日中における著作権保護に向けた関係強化および日中ライセンスビジネス交流を狙いとし、「著作権保護」をテーマに、首都著作権協会及び会員企業の関連部門に所属する青年を訪日招聘し、テーマに関するブリーフ・視察・交流等を通じて、同分野での日中間の関係構築の一層の強化を図るほか、日本の経済、社会、文化、歴史等に関する視察など、多面的な日本理解につながる活動を行い、対日理解を促進することを目的として実施しました。

【参加者】首都著作権協会及び会員企業の関連部門に所属する青年 29名

【訪問地】東京都、山梨県、静岡県

【日程】

■ プレプログラム

5月29日（水） オンライン事前オリエンテーション

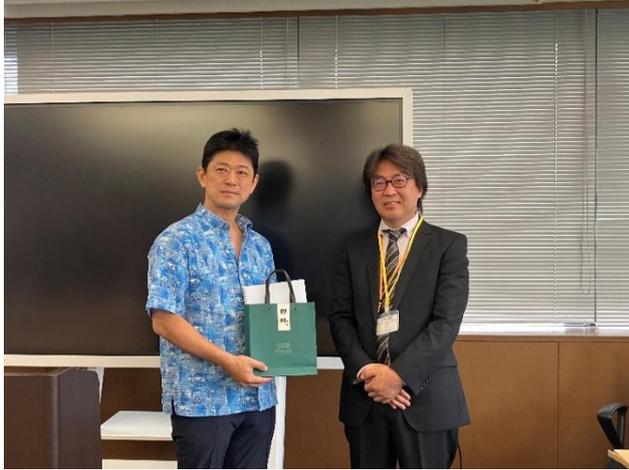
■ 招へいプログラム

6月2日（日）～6月8日（土）6泊7日

日にち	概要
5月29日 プレプログラム	【オンライン事前オリエンテーション】 ①主催者代表挨拶 ②団長挨拶 ③参加者紹介 ④訪日日程説明 ⑤注意事項説明 ⑥アンケート・対外発信・アクションプラン説明 ⑦質疑応答
1日目 6月2日	東京国際空港より入国 皇居・二重橋、チームラボプラネッツ TOKYO DMM 参観
2日目 6月3日	【テーマ関連講義】 経済産業省 「コンテンツ産業政策の現状について」 講師：経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 文化庁ブリーフ 「著作権制度をめぐる最新の動向 –2023年改正、AIと著作権を中心に–」 講師：文化庁 著作権課 【外務省表敬訪問】 高村 正大 外務大臣政務官 【テーマ関連視察・意見交換】

	<p>株式会社バンダイ本社</p> <p>①バンダイ本社 展示見学 ②キャラクタービジネスと著作権についてのレクチャー③質疑応答、意見交換</p> <p>富岡八幡宮参観</p> <p>【歓迎会】</p>
3日目 6月4日	<p>【テーマ関連視察・意見交換】</p> <p>東宝株式会社</p> <p>①東宝（株）での著作権侵害対策について紹介 ②質疑応答、意見交換</p> <p>一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）</p> <p>①CODA 事業紹介 ②質疑応答、意見交換</p> <p>印刷博物館参観</p>
4日目 6月5日	<p>山梨県立富士山世界遺産センター、富士山五合目、忍野八海参観</p> <p>【日本文化体験】</p> <p>和風旅館宿泊</p>
5日目 6月6日	<p>三保の松原、東海道広重美術館参観</p> <p>【日本文化体験】</p> <p>茶道体験</p>
6日目 6月7日	<p>東京タワー参観</p> <p>【テーマに関する視察】</p> <p>三鷹の森ジブリ美術館</p> <p>【テーマ関連視察・意見交換】</p> <p>（一社）日本音楽著作権協会（JASRAC）</p> <p>①「JASRACの事業と国際的な著作権管理」について ②質疑応答、意見交換</p> <p>【歓送報告会】</p>
7日目 6月8日	<p>東京国際空港より帰国</p>

2. 記録写真



2024年6月3日【外務省表敬訪問】
高村 正大 外務大臣政務官



2024年6月3日【テーマ関連視察・交流】
株式会社バンダイ



2024年6月4日【テーマ関連視察・交流】
東宝株式会社



2024年6月4日【テーマ関連視察・交流】
(一社)コンテンツ海外流通促進機構



2024年6月5日【参観】
山梨県立富士山世界遺産センター



2024年6月7日【テーマ関連視察・交流】
(一社)日本音楽著作権協会

3. 参加者の感想（抜粋）

◆日本のコンテンツ産業は世界でも類を見ないものです。私は知的財産関連の仕事に携わるだけでなく、日本のコンテンツ製品の消費者でもあります。日本には文学、芸術、音楽、マンガ、アニメーション、映画、テレビの分野で優れた作品が数多くあります。文化産業の繁栄は、健全な法制度の保障と不可分です。外務省、文化庁や、バンダイ、東宝との交流を通じて、日本のコンテンツ製品の海外流通や権利の保護・行使に関する貴重な情報や高度な経験を得ることができました。今後も同様の交流活動に参加する機会を増やし、日本のコンテンツ産業の内容をより深く学び、より多くの栄養素を吸収できることを願っています。

◆日本の文化企業の著作権保護に対する意識の高さや、日本政府が権利者を重視していることを直感的に感じることができました。知的財産権の収益化能力と付加価値は、企業と政府のコンセンサスとなっています。政府と民間団体が協力して、日本企業の他国での権利擁護を支援していることは、大いに学ぶ価値があります。中国の文化企業が、国内で自己の知的財産権の保護に苦労しているのと比べて、日本は既に業界団体や政府が日本文化企業の海外での権利保護を支援するところまで発展し、一定の成果と利益を達成しています。私たちの業界団体も、中国の文化企業が海外での知的財産権を効果的に保護するのを助けるために、同様の政策とイニシアチブを持つことを望みます。

◆この一週間、外務省、コンテンツ海外流通促進機構、バンダイ、東宝、スタジオジブリなどの行政機関や企業を訪問しました。経済産業省による日本の著作権産業政策に関する講演、文化庁による2023年の著作権法改正とAI関連の著作権問題に関する講演を聴講し、日本を代表するコンテンツメーカーと知的財産保護に関する深い経験交流を行いました。訪問中、中国における日本の権利保護の事例をいくつも聞きました。中国はよく知られた文化大国ですが、著作権大国と見なすことはできません。中国文化は豊かで多彩ですが、既存の文化の発展と保護は、日本のアニメーション産業と日本文化に対する探求には及びません。著作権に対する意識は赤ん坊の頃から始めるべきであり、私たちが真の著作権大国になるには、何世代にもわたる努力が必要かもしれません。日中両国の著作権保護と発展のために、日中両国の著作権関係者が協力を強化し、解決策を共同で検討することは大きな意義があります。

◆一、日本における著作権保護を深く理解。経済産業省や文化庁の講義では、日本の著作権保護制度についてより包括的に理解することができました。バンダイ、東宝、CODAなどの団体との交流を通じて、彼らが著作権管理や法執行において豊富な経験を積んでおり、それが私たちの保護活動にとって非常に重要であることを知りました。

二、豊かな文化体験。teamlabを訪れた際、その独特なアートに魅了されました。このテクノロジーとアートの組み合わせは、私の現代文化への理解を深めてくれました。また、印刷博物館を訪れたことで、印刷技術の歴史や発展をより直感的に理解し、日本の伝統工芸に敬意を払うことができました。茶道文化の体験では、おいしいお茶を味わうだけでなく、日本の茶道の厳格さと繊細さも感じました。これらの文化体験は、日本の文化をより包括的に理解することを可能にしました。

三、日本の美しい自然を堪能。富士山五合目・忍野八海を訪れた際、富士山の雄大さと忍野八海の静けさと美しさに感動しました。これらの自然の風景は、自然の不思議な魅力を感じさせるだけで

なく、日本という国の地理環境をより直感的に理解させてくれました。

4. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆現場で様々な中国の著作権のエキスパートの皆様とフランクに交流できましたことは、非常に実りのあるものと感謝しております。

◆今回の来日で代表団の方々が、日本の著作権制度や日本文化の理解を深められ、今後の日中の連携強化に繋がる機会になったのであれば何よりです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

参加中国版权界人士代表团日本访问，在前两天除了听取了经济产业省关于日本内容产业海外保护的政策和文化厅关于日本著作权法最新的修订内容，还访问了万代和东宝等一流内容厂商，在交流中获悉了企业在知识产权维权方面的宝贵信息，与企业深入交流了跨国维权的法律问题，感谢日方热情的接待与分享，忙碌而又充实的两天！

收起



好事多磨，后会有期☀️

版权领域交流合作是文化国际交流的重要组成部分，以外务省、文化厅为起点，到万代（BANDAI）、东宝（TOHO）、日本内容产品海外流通促进机构（CODA），再到吉卜力（Ghibli）美术馆、工作室和日本音乐著作权协会（JASRAC），围绕版权保护策略与前沿实务问题研究，一路走来一路交流，机遇与挑战并存。面向未来，愿进一步加强民间交流，合作共享，在共同维护版权领域秩序的同时，共同推动各自优秀文化内容产品走向世界。

- 感谢中国驻日大使馆与日本驻华大使馆的鼎力支持
- 感谢日中友好会馆（JCFC）的精心安排
- 感谢CODA北京代表处的全程支持
- 感谢随团各会员单位与合作伙伴的大力支持、配合与理解

收起



中国著作権業界関係者代表団の日本訪問に参加し、経済産業省から日本のコンテンツ産業の海外保護政策、文化庁から日本の著作権法の最新の動向を聴講しました。また、バンダイや東宝などの一流コンテンツメーカーを訪問し、交流の中で企業の知的財産権保護について貴重な情報を得たほか、国境を越えた権利保護の法的問題について企業と深く交流しました。日本側の温かい歓迎に感謝します。忙しく充実した2日間となりました！

いいことがたくさん、また会いましょう。著作権分野での交流・協力は国際文化交流の重要な部分であり、外務省、文化庁をはじめ、バンダイ、東宝、コンテンツ海外流通促進機構、ジブリ美術館とスタジオジブリ、日本音楽著作権協会を訪問し、著作権保護戦略や最先端の実務的な研究を中心に交流を行い、そこにはチャンスと挑戦が共存していました。未来に向けて、私たちは民間交流、協力、共有を強化し、著作権分野の秩序を共同で維持すると同時に、それぞれの優れた文化コンテンツ作品を世界に発信します。

在日中友好会馆安排下，拜访了日本外务省，聆听了日本经济产业省关于日本版权产业政策的讲座、文化厅关于2023年日本著作权法修改及AI相关著作权问题的讲座。参观了万代公司、东宝公司、CODA总部，并进行了座谈交流。在紧张的学习交流之余也参观了印刷博物馆、静冈市东海道广重美术馆等，更是领略了富士山的壮美、海上日出的壮观。

收起

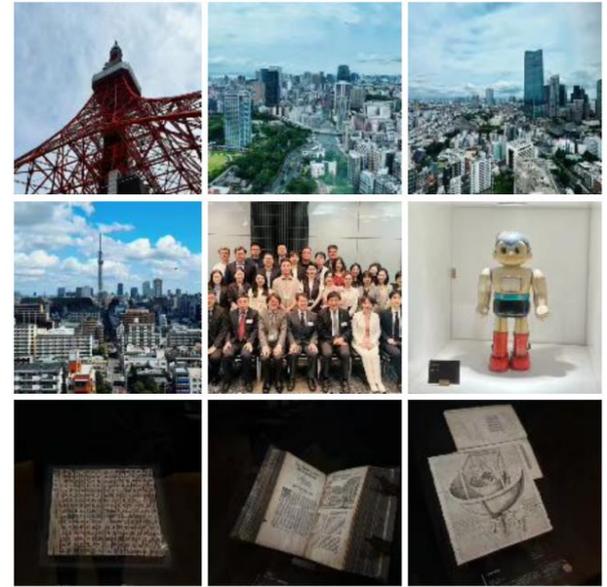


日中友好会館の手配のもと、日本外務省を表敬訪問し、経済産業省から日本の著作権産業政策について、文化庁から2023年の日本の著作権法改正とAI関連の著作権問題についてのブリーフを聴講しました。バンダイ、東宝、CODA本部では意見交換や交流を行いました。緊張感のある学びや交流に加え、印刷博物館、静岡市東海道広重美術館等を参観し、雄壮で美しい富士山と、海からの日の出も見ることができました。

很荣幸受邀参加中国版权界人士代表团访日交流活动，感谢日本外务省和日中友好会馆的邀请及安排👏👏👏 文博、文旅、非遗、文化艺术品领域的版权问题一直存在较大争议，通过本次交流，也了解学习到日本在知识产权保护、管理和运营方面投入的巨大研究及成本。

文化的普及与传承是一个国家综合实力的展现，路漫漫其修远兮，期冀未来中国文保链能够为中华优秀传统文化在世界范围内的传承传播作出应有的贡献，助力国家文化数字化战略的推进。

收起



中国著作権業界関係者代表団として日本を訪れ、交流活動に参加できたことは非常に光栄です。日本外務省、日中友好会館のお招きと手配に感謝いたします。

文化博物館、文化観光、無形文化遺産、文化芸術分野での著作権問題は常に論争を巻き起こしてきましたが、今回の交流を通じて、日本の知的財産保護・管理・運用に費やされる膨大な研究とコストについても学ぶことができました。

文化の普及と継承は国際的な総合力の実証であり、その道は長くて遠い。将来的には、中国文化保護チェーンが中国の優れた伝統文化の継承と世界への普及に貢献し、国家文化のデジタル化戦略の推進することを期待します。



「JENESYS 2024」中国著作権業界関係者代表団が CODA に来訪

2024 年 6 月 5 日

2024 年 6 月 4 日、中国から「JENESYS 2024」中国著作権業界関係者代表団 29 名が CODA に来訪し、著作権分野における相互理解促進のための交流会を実施しました。



CODA と代表団集合写真

「JENESYS 2024」(中国)は、外務省が推進する対日理解促進交流プログラムとして、中国の将来を担う青少年を対象に人材の招聘・派遣などを行い、日本への関心・理解・支持の拡大を目指し、日本と中国の友好関係をより一層深めること目的で開催されています。今回は「JENESYS 2024」(中国)の一環として、6月2日から8日までの日程で、「著作権保護」をテーマに首都著作権協会および会員企業の著作権関連部門から青年等 29 名が招聘され、日中友好会館が実施し、CODA は実施協力を行いました。

CODA への来訪当日、CODA 会議室で開催された交流会には、CODA から後藤代表理事ほかが参加し、デジタル・オンライン時代における海賊版対策の問題や課題を中心に、CODA の各種事業の紹介を行いました。また、代表団から CODA に多くの質問が寄せられ、著作権保護や侵害対策に関する活発な意見が交わされるなど、これからの中国の著作権業界を担う若き代表団の方々の意見や関心事について情報を得る貴重な機会となりました。

2024 年 6 月 5 日（一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構）

2024 年 6 月 4 日、中国から「JENESYS2024」中国著作権業界関係者代表団 29 名が一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）に来訪し、著作権分野における相互理解促進のための交流会を実施しました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表



【訪日中の学び】

今回の研修の旅を通じて、新技術が継続的に発展し、人工知能が継続的にアップグレードされている今日、中日両国の著作権コミュニティがこれらの複雑な問題にどのように対応しているかを含め、著作権保護において中国と日本が直面している共通の問題と課題を深く理解することができました。

【アクション・プラン】

定期的に社内交流活動を開催し、積極的に日本を訪問する仲間を組織し、チームの国際交流と協力を促進します。日本の著作権保護の現状や動向をより多くの人に知ってもらうことで、同時に社内の知的財産権に対する意識や能力も高めることができます。



【訪日中の学び】

日本の著作権法制度への理解が深まり、厳格で網羅的であると感じました。次に、日本の同業者との交流を通じて、多くの実践的な経験とスキルを学び、将来の自身の仕事や人生に良い影響を与えたいと思います。また、今回の交流では文化の違いの重要性を改めて認識しました。日本の同業者との交流の中で、両国間の著作権保護の概念と慣行には一定の違いがあり、今後の仕事では異文化間の交流と適応にもっと注意を払う必要があることが分かりました。

【アクション・プラン】

日本語の勉強を始め、日本の音楽や映画などの文化的な IP に注意を払い、日本文化についてもっと学び、機会があれば日本の友達とコミュニケーションを取ります。

実施団体名：(公財) 日中友好会館